

平成 2 8 年政策評価書

千葉県警察重点目標	安全で安心できる県民生活の確保
施 策	テロ、災害等への的確な対応と成田国際空港の安全確保
施 策 目 標	災害訓練の推進
施策設定の背景	<p>東日本大震災から5年が経過しましたが、同震災では本県も地震や津波により甚大な被害を受けました。また、県内には日本有数の石油コンビナートや成田国際空港、千葉港を擁しており、自然災害のほか、石油コンビナート事故や航空機事故等、大規模事故の発生も懸念されます。</p> <p>県警では、県民を災害被害から守るため、各種災害訓練を効果的に実施するとともに、災害に関する広報啓発活動を推進し、県民の防災意識の高揚に努めていきます。</p>
実 施 項 目 1	各種災害訓練の実施
推 進 結 果 1	東日本大震災の反省・教訓を踏まえ、あらゆる状況においても迅速・的確な警察活動を展開できるよう、地域住民参加による実践的な災害警備訓練を実施しました。
実 施 項 目 2	災害に関する広報啓発活動の推進
推 進 結 果 2	県民に対し、警察広報紙を活用した広報や、ふるさとまつり等の各種フェスティバル会場における広報啓発活動を推進したほか、防災講話等を積極的に開催し、防災意識の醸成に努めました。
実績（成果）	<p>○ 各種災害訓練の実施状況</p> <p>主な警備訓練として、解体予定の旧 J R 東日本千葉支社社屋を活用した救出訓練や介護施設・養護学校等での避難訓練、廃校の中学校を活用した夜間における災害対応訓練など、関係機関との合同訓練を実施しました。</p> <p>○ 災害に関する広報啓発活動の推進状況</p> <p>平成 2 8 年における広報啓発活動は、県民に対し、各地区でのふるさとまつり等を活用した広報啓発活動や学校等における防災講話を実施したほか、東日本大震災を風化させないための広報資料「あれから5年～あの日・あのときを忘れない～」を作成し、職員に対する教養と県民に対する広報啓発活動に活用しました。</p>
実績（成果）指標	<p>○ 関係機関との合同訓練の回数（平成 2 8 年中） 3 9 1 回（前年比－ 6 7 回）</p> <p>○ 災害に関する広報啓発活動の回数（平成 2 8 年中） 3 5 4 回（前年比－ 6 8 回）</p>
参 考 指 標	<p>○ 災害に伴う人的被害の発生状況</p> <p>・平成 2 8 年における自然災害（台風、大雨、強風、地震）の発</p>

	<p>生状況については、28件で負傷者数70人（内訳重傷者8人、軽傷者62人）でした。</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成28年における事故災害（工場火災、有害物質漏洩等）の発生状況については、68件で負傷者6人（内訳重傷者2人、軽傷者4人）でした。
効 果	<p>実践的な災害警備訓練や各種教養により、防災意識が醸成され、円滑な災害警備活動等を推進することができました。</p>
今 後 の 課 題 及 び 方 針	<p>東日本大震災後、千葉県警察災害警備計画及び千葉県警察業務継続計画を策定し、発生時における体制の確立、的確な対応要領等の構築を図りました。今後も、実情に即した計画の見直しを行うとともに、官民一体となった各種訓練を反復実施し、大規模災害等に備える必要があります。</p> <p>災害発生時には、県警の総力を発揮し、迅速・的確に対処できるよう官民一体の災害警備対策を引き続き推進していきます。</p>
施 策 主 管 課 政 策 評 価 担 当 課	<p>警備部警備課 警備部公安第一課</p>